



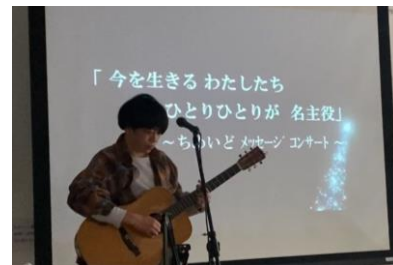
武庫の宝

令和7年 2月号



三田市立武庫小学校長 大向 勲

1月19日(日)に武庫が丘コミュニティセンターで住民研修会が開催されました。内容は下深田にあるデイサービス山帽子の岩城さんから認知症ケアに関する講演。「認知症ケアは優しい心と、伝わる言葉で。それを正しく行うためには**学び続けることが大切**」というメッセージが心に響きました。そして、ちめいどの雄介さんの人権コンサート。「今を生きるわたしたちひとりひとりが名主役」のタイトルで思わず涙があふれる瞬間もありました。あっという間に時間が過ぎてしまった心あたたまる研修会でした。



その約2週間後。その日は4年生ではゲストティーチャーを招いての「認知症サポーター養成講座」が開催されました。ゲストティーチャーさんだけでなく、民生委員の方々も子どもたちの学ぶ様子をご覧くださいたくため来校。さらにその日は1年生の昔遊びが学校ボランティアさんに大変お世話になり…ふと「今、学校には保護者、地域の方がどのくらいいらしゃるのだろう?」と思い数えてみました。ゲストティーチャーを含めると計19名の方がいらっしゃったのです。6学年のうち、2学年に、先生以外の大人の関わりがある、まなざしがある。その現実*に*いまさらながらに感激しました。(ちなみにその翌日にはミシンボランティアにまた駆けつけてくださる方が…)

本当に有難いことです。ご存じの通り、現在も本校は教員数が足らず全教職員で子どもたちの教育活動に支障をきたさないようにと、力を合わせて毎日取り組んでおります。たくさんの方々に励まし、お気遣いのお言葉をいただいています。その言葉だけでも本当に元気になります、力になります。そしてそれ以上に、今回紹介させてもらったようなたくさんの保護者、地域の方々の支え…。胸がいっぱいになります。学校にこんなにたくさんの大人が足を運んでくださり、教育活動を支えてくださっているのです。「できることを、できる人が」簡単なことではありません。様々な準備、調整が必要です。でもそれが実現している…。残りの2か月、子どもたちが登校するのは30日あまり。たくさんの方々の支援の元、令和6年度の武庫小学校はまとめの時期となっていきます。どうか、変わらずのご支援ご協力をよろしく願いいたします。

本当に有難いことです。ご存じの通り、現在も本校は教員数が足らず全教職員で子どもたちの教育活動に支障をきたさないようにと、力を合わせて毎日取り組んでおります。たくさんの方々に励まし、お気遣いのお言葉をいただいています。その言葉だけでも本当に元気になります、力になります。そしてそれ以上に、今回紹介させてもらったようなたくさんの保護者、地域の方々の支え…。胸がいっぱいになります。学校にこんなにたくさんの大人が足を運んでくださり、教育活動を支えてくださっているのです。「できることを、できる人が」簡単なことではありません。様々な準備、調整が必要です。でもそれが実現している…。残りの2か月、子どもたちが登校するのは30日あまり。たくさんの方々の支援の元、令和6年度の武庫小学校はまとめの時期となっていきます。どうか、変わらずのご支援ご協力をよろしく願いいたします。